

# **2016年度第1四半期 IR決算説明資料**

**2016年7月28日**

**日本テレビホールディングス株式会社**

**本説明会及び資料の内容には、  
将来に対する見通しが含まれていることがあります。  
しかし、実際の業績は、  
さまざまな状況変化や要因により、  
これらの見通しと  
大きく異なる結果となり得ることがあり、  
何らの保証やコミットメントを  
与えるものではありません。ご了承下さい。  
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

# 連結 売上高・利益

(百万円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	100,283	100,854	0.6
営業利益	12,411	14,393	16.0
経常利益	14,347	16,203	12.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,144	11,374	39.6

# 日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	増減率 (%)
売上高	73,377	75,690	3.2
営業利益	10,656	12,462	17.0
経常利益	17,709	14,092	△20.4
当期(四半期)純利益	12,609	10,305	△18.3

# テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	比較	増減率 (%)
放送収入	59,210	62,541	3,330	5.6
タイム	27,436	28,249	812	3.0
スポット	31,773	34,292	2,518	7.9

(前年同月比 %)

タイム	2015年度	2016年度
4月	0.7	4.5
5月	6.7	1.2
6月	△12.9	3.5

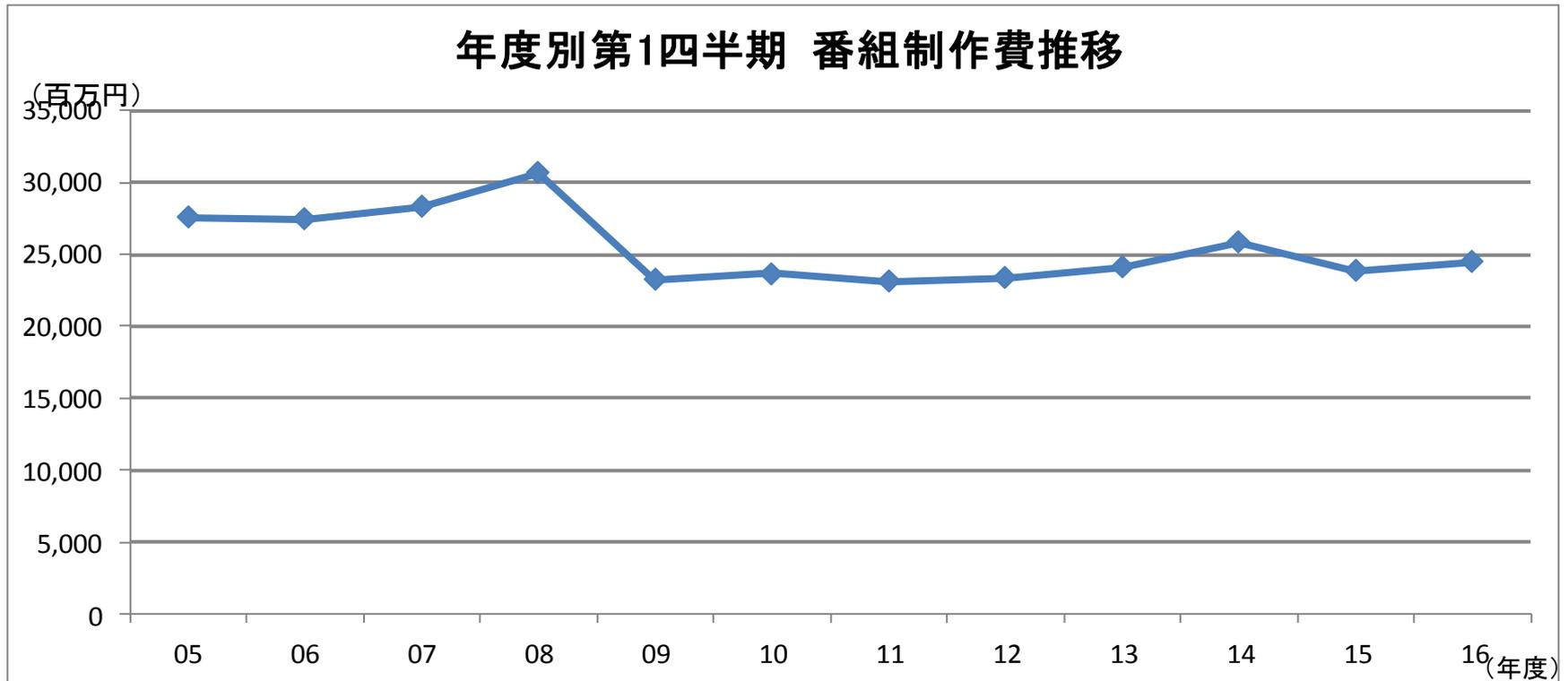
(前年同月比 %)

スポット	2015年度	2016年度
4月	7.3	8.6
5月	1.9	7.2
6月	0.2	7.9

# 番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	比較	増減率(%)
23,865	24,486	621	2.6



# 主な事業収支の概況 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

2016年度 第1四半期		収入	費用	収支
映画事業	昨年	2,539	2,581	△43
	当期	<b>2,046</b>	<b>1,700</b>	<b>346</b>
通販事業	昨年	2,213	2,047	166
	当期	<b>1,754</b>	<b>1,644</b>	<b>110</b>
イベント事業	昨年	1,460	1,249	211
	当期	<b>1,085</b>	<b>938</b>	<b>147</b>

# 主なグループ各社の状況

2016年度第1四半期 (百万円:未満切捨)	売上高		営業利益		経常利益		当期四半期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	3,746	1.4	252	△ 3.0	262	△ 5.2	178	△ 0.3
CS日本	1,219	0.2	265	43.8	267	41.2	184	35.2
日テレ・テクニカル・リソース*	2,636	△ 3.0	△ 31	-	△ 25	-	△ 13	-
日テレ アックスオン	5,362	16.8	246	30.0	251	28.2	178	41.4
日テレイベンツ	601	19.7	△ 2	-	△ 2	-	△ 3	-
日本テレビアート	1,900	△ 1.8	41	416.9	43	213.1	29	238.2
日本テレビ音楽	2,598	△ 11.2	341	△ 20.4	374	△ 39.8	265	△ 44.2
ハップ°	3,292	△ 50.5	142	-	183	347.9	160	-
ティップネス	9,364	4.8	839	△ 1.2	763	△ 0.6	534	4.9
日本テレビサービス	771	△ 16.4	14	△ 6.0	19	△ 25.7	13	△ 23.5
日本テレビワーク24	998	9.3	23	△ 0.6	24	0.6	13	△ 14.3
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	691	△ 0.8	12	△ 60.2	23	△ 62.6	11	△ 70.3
日テレビITプロデュース	459	33.7	43	74.7	41	75.0	26	10.5
日テレ7	1,224	△ 25.9	105	△ 20.8	105	△ 21.3	72	12.0
タツノコプロ	321	△ 8.2	1	△ 89.5	1	△ 89.2	△ 9	-
HJホールディングス	3,832	37.4	△ 203	-	△ 85	-	△ 86	-

# バップ、ティップネス、HJホールディングス 概況

## ☆バップ

単位:百万円

第1四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		3,292	142	183	160

売上は前年のMr.Childrenのアルバムセールスの反動減  
経営改革によりコストコントロールが効き、増益

## ☆ティップネス

第1四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		9,364	839	763	534

FASTGYM24 2016年6月末時点 44店舗  
大型店ではキッズ会員が増加

## ☆HJホールディングス

第1四半期	累計	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
		3,832	△203	△85	△86

2016年6月末有料会員数 139.3万人  
オリジナルコンテンツ・・・氷室京介密着ドキュメント『DOCUMENT OF KYOSUKE  
HIMURO“POSTSCRIPT”』(6月)・「CROW'S BLOOD」(AKB出演)(7月)・「High & Low」の  
展開ほか

# 業績予想

## 2016年度連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期	203,000	17,600	20,200	14,000
通期	416,000	46,000	50,000	35,000

\* 今回、業績予想は据え置いています。

# 2016年「年間」視聴率

期間: 2016/01/04～2016/07/24

\* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差
全日	① 8.4	7.4	6.0	2.9	6.0	+1.0
(前年比)	(Δ0.4)	(+0.5)	(+0.1)	(Δ0.1)	(Δ0.5)	(Δ0.9)
プライム	① 11.9	10.7	9.7	6.3	8.4	+1.2
(前年比)	(Δ0.9)	(Δ0.6)	(+0.1)	(Δ0.1)	(Δ1.0)	(Δ0.3)
ゴールデン	① 12.1	10.4	9.8	6.6	8.3	+1.7
(前年比)	(Δ0.9)	(Δ0.6)	(+0.1)	(Δ0.1)	(Δ1.0)	(Δ0.3)

\* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

(前年比)は、前年の同じ比較期間との差

# 2016年「年度」視聴率

期間:2016/04/04～2016/07/24

\* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差
全日	① 8.1	7.1	6.0	2.8	5.8	+1.0
(前年比)	(Δ0.3)	(+0.4)	(+0.2)	(Δ0.1)	(Δ0.4)	(Δ0.7)
プライム	① 11.4	10.4	9.9	6.0	8.0	+1.0
(前年比)	(Δ0.9)	(Δ0.3)	(+0.2)	(Δ0.3)	(Δ1.0)	(Δ0.6)
ゴールデン	① 11.6	10.0	10.0	6.3	8.0	+1.6
(前年比)	(Δ0.8)	(Δ0.5)	(+0.4)	(Δ0.2)	(Δ0.8)	(Δ0.3)

\* 世帯視聴率・ビデオリサーチ調べ

(前年比)は、前年の同じ比較期間との差

# 2016年度 10月改編について

## ☆2016年10月改編ポイント

- 更なる「タイムテーブルの多様性」拡充
- 4月期改編に続くフロー改善施策の実施
- 「次なるキラークンテンツ」  
「次なるエースクリエイター」の育成
- ドラマ枠の企画強化と多面的コンテンツ展開



次頁から  
補足資料です

# 営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期
放 送 収 入	59,210	<b>62,541</b>
タ イ ム	27,436	<b>28,249</b>
ス ポ ッ ト	31,773	<b>34,292</b>
番 組 販 売 収 入	2,841	<b>2,842</b>
事 業 収 入	10,752	<b>9,762</b>
不 動 産 賃 貸 収 入	574	<b>543</b>
合 計	73,377	<b>75,690</b>

# 営業費用 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2015年度 第1四半期	2016度 第1四半期
番組制作費	23,865	<b>24,486</b>
支払電波料	7,278	<b>7,551</b>
代理店手数料	10,067	<b>10,693</b>
人件費	5,446	<b>5,704</b>
減価償却費	1,735	<b>1,747</b>
事業費	8,596	<b>7,153</b>
諸経費	5,731	<b>5,889</b>
合計	62,721	<b>63,227</b>

# スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2015年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)	2016年度 第1四半期		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレットリー	18.2	23.4	化粧品・トイレットリー	16.4	△3.2	
2	運輸・通信	10.6	△0.2	運輸・通信	11.6	18.8	
3	非アルコール飲料	6.8	△8.1	非アルコール飲料	7.0	10.4	
4	サービス	6.1	△15.7	サービス	7.0	23.4	
5	薬品	5.7	△11.6	薬品	5.7	7.6	
6	輸送機器	5.3	△3.5	金融・保険業	5.3	18.0	
7	金融・保険業	4.9	△10.5	映画・演劇興行	5.1	20.3	
8	映画・演劇興行	4.6	3.1	食品(加工・健康食品等)	4.4	21.3	
9	卸売・百貨店	4.1	26.6	食品(乳製品調味料)	4.4	17.2	
10	電気機器	4.1	△13.0	電気機器	4.3	12.7	

\* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

# 日本テレビ放送網事業収支

2016年度 第1四半期 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	2,357	1,040
ライツ	494	312
通販	1,754	1,644
映画	2,046	1,700
イベント	1,085	938
海外ビジネス	692	257
その他	1,334	1,262
合計	9,762	7,153

# 設備投資と減価償却

(億円)

2016年度 第1四半期	設備投資額	減価償却費
連結	56	25

連結予想	設備投資額	減価償却費
2016年度	377	125
2017年度	211	151
2018年度	305	156

\* 予想数値は内部管理の数値です。

\* 今回、連結子会社化した日テレITプロデュース分の見直しをしました。

# セグメント別 実績

(百万円)

2016年度 第1四半期	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ 事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	90,474	9,364	2,437	102,276	1,228	103,504	△2,649	100,854
セグメント利益	13,196	459	913	14,569	58	14,627	△234	14,393
(参考)								
のれん等償却費控除前 セグメント利益	13,245	904	913	15,063	58	15,122		

事業区分	主な事業内容
メディア・コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

# 2016年「映画事業」 主なラインナップ

☆=日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考
8/6	☆ ルドルフとイッパイアッテナ	東宝	広く長く愛され続けている児童文学を原作に描く大型フル3DCGアニメーション。猫たちの友情と冒険、出会いと別れの物語。 声) 井上真央、鈴木亮平、八嶋智人、古田新太 ほか
9/22	☆ 真田十勇士	松竹・日活	事業局内連動企画。大ヒット舞台「真田十勇士」が「舞台×映画」で復活！演劇界・映画界連動の史上初の一大Wプロジェクト。 出演) 中村勘九郎、松坂桃李、大島優子 ほか
10/22	金メダル男	ショウゲート	内村光良(ウッチャンナンチャン)の1人舞台「東京オリンピック生まれの男」を、自ら原作・脚本・監督・主演で映画化。内村と「スクール革命」で共演する知念侑李(Hey! Say! JUMP)がW主演。豪華共演者たちが集結し、爽やかに笑って泣ける映画が完成。
10/29	☆ デスノート Light up the NEW world	ワーナー	“そのノートに名前を書かれた人間は死ぬ”…記録と記憶に残る「デスノート」から10年。正統な続編として放たれる新たな物語。USJとのコラボ、Huluでのオリジナルドラマの配信など、様々な展開も。 出演) 東出昌大、池松壮亮、菅田将暉 ほか
12/10	☆ 海賊とよばれた男	東宝	主演:岡田准一×監督:山崎貴。大ヒット映画『永遠の0』チームが再結集し、370万部突破の大ベストセラーを完全映画化。 出演) 岡田准一、吉岡秀隆、綾瀬はるか ほか

【MEMO】今年1月公開の「さらば あぶない刑事」がDVD・Blu-ray化。それぞれ、1万1千枚・9千枚を売り上げ、7月25日付オリコン週間ランキングで両盤とも映画部門の1位を獲得。(発売元・バップ)

# 2016年 「イベント事業」 主なラインナップ

期間	イベント名	内容
7/16～20 8/18～22	ディズニー・オン・アイス2016 「アナと雪の女王」	日本上演31年目。社会現象を巻き起こした「アナと雪の女王」を、トップスケーターが氷上で繰り広げます。 @国立代々木競技場第一体育館(7月)、横浜アリーナ(8月)
7/22～ 8/31	ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアー	日本初のオリジナルアリーナショー。国内外のトップクリエイターが、「ドラゴンクエスト」の世界を目の前に出現させます！ @さいたまスーパーアリーナほか全国5大アリーナ
9/10～ 10/23(予)	舞台「真田十勇士」	2014年に大ヒットした舞台の再演。前回に引き続き、主演中村 勘九郎、監督堤幸彦。さらに堤監督、勘九郎主演で映画も同時期公開します。 @新国立劇場(東京・渋谷)ほか全国3会場
10/25～ 2017/2/26	ヴェルサイユ宮殿美術館 「マリー・アントワネット展」 ～美術品が語るフランス王妃の真実(仮)	日本初、ヴェルサイユ宮殿美術館の全面協力のもと、肖像画や 王妃が身につけていた衣服、ゆかりの品々などでその生涯を たどる“マリー・アントワネット展の決定版”。 @森アーツセンターギャラリー
9/14～ 12/12	「ダリ展」(仮)	20世紀のスペインを代表する画家サンバドール・ダリ。本展は、グラフィック、オブジェ、ジュエリーなど様々な表現媒体で展開された初期から晩年までのダリの多方面にわたる創作の軌跡を約200点によりたどる。 @新国立美術館
2017/1 (予)	「David Bowie is」日本開催	デヴィッド・ボウイのアーカイヴから厳選された300点以上の貴重な品々が展示、音楽、ファッション、デザイン、演劇、アート、フィルムなど、ボウイの世界観が忠実に表現された大規模な回顧展。現在までにカナダ、ブラジル、ドイツ、アメリカ、フランス、オーストラリア、オランダで開催したイベントが日本に。
2017/3 (予)	「大エルミタージュ展」	3度目となる今回は、美術館が所蔵する絵画の中でも、質・量ともに群を抜く、17世紀、18世紀に焦点があてられ、ティツィアーノ、レンブラント、ルーベンスなどの傑作85点が集まる。過去2回の開催では、全国で142万人の来場者を記録。今回は、来年春から東京、その後、名古屋、神戸で開催予定。